

放射能除染ボランティア登録を頂いた皆様へ（現状報告）

コープふくしまの除染ボランティアに登録していただき、また、7月には伊達市でのボランティアにご協力頂き誠に有難うございました。

7月に、伊達市での実践以来、このところ除染ボランティアのニーズが止まっており、折角の皆様の好意を十分に活かすことが出来ないことお詫び申し上げますと、同時に、除染に係る現状と今後の見通しについてご報告させていただきます。

実績

- ・ 7月17日（土）18日（日）
伊達市富成小学校の線量低減のための除染に協力（除染ボランティアの初取組み）
- ・ 7月23日（土）24日（日）
特定避難勧奨地点に指定された伊達市霊山町下小国地区の農家3軒の除染実証試験に協力

現状

- ・ 生活空間放射線量低減活動「ふくしまの子どもを守る緊急プロジェクト」
福島県は県内約6000の町内会等を単位に、各50万円を補助して住民が中心となった除染活動を準備しているところです。9月11日に南相馬市での取組みが始まりますので、今後、多くの町内での除染が実施されることとなります。
今後、各町内会等の具体的な実施日程の把握をした上で、皆様にご協力頂けるように情報を提供します。
- ・ 8月26日に、議員立法で「東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」が採択され、今後、環境省令等を整備し、2012年1月1日施行ということになります。この特別措置法では、国が地方自治体と相談しながら責任をもって除染を行うことが明確にされています。
- ・ 9月8日に、ボランティアの協力を得て除染を実施した、伊達市の上記2箇所を野田総理大臣他が視察し、翌日の閣議で第2次補正予算から2200億円が除染関係に割り当てられました。

国や県は、除染のモデル事業やガイドライン作成を先行させていますが、10月ぐらいから福島県全域での除染が本格化するものと予測されます。福島県民が希求していることは一刻も早い本格的な除染の実施ですので、そうした要求に対して、除染ボランティアがきめ細かく協力できるような取組みをめざしたいと思います。

現状をご理解いただき、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

NPO「放射線安全フォーラム」田中俊一